

令和7年
2025年

9月1日
月曜日

第11785号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6カ月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



- ▶ 第74回家畜衛生部会開催、飼養衛生管理指導等指針の改正など答申—農水省……………P2
- ▶ 中元ギフト市場の厳しさうかがえる—七月分の加工品生産量……………P2～3
- ▶ [食肉流通統計・7月]と畜頭数は豚2・3%減、成牛0・9%減……………P4
- ▶ [都内輸入食肉在庫・7月]牛肉在庫量は前年同月比7・3%増……………P4
- ▶ [豚肉調製品輸入通関・7月]シーズンドなど合計9780tで14・0%減……………P5
- ▶ 豪州、25年4～6月期の穀物肥育牛肉輸出量、過去最高を記録……………P6
- ▶ 【東京食肉卸売市場】牛強もちあい、豚もちあい……………P7
- ▶ 【大阪市食肉卸売市場】和牛・交雑共に上げ、豚入荷少なく高値維持……………P7
- ▶ [POSランク7月ハム製品]「朝のフレッシュローズハム」が首位……………P7
- ▶ [資料]食肉加工品生産数量調査報告書（2025年7月分）……………P8
- ▶ ハム製品7月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次……………P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]29日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]29日…P11

注目のヘッドライン

第74回家畜衛生部会開催、飼養衛生管理指導等指針の改正など答申—農水省

…詳細はP2

[休刊のお知らせ]

日刊食肉速報をご愛読いただきありがとうございます。9月2日付号は休刊とさせていただきます。定期記事・相場情報などの一部が変更となりますので、ご了承をお願いいたします。

(株)食肉通信社 日刊食肉速報編集部



国内で唯一、最大級の食肉総合見本市

第50回 食肉産業展
2026 Japan Meat Industry Fair 50th.

50周年記念
半世紀の集大成を未来へつなぐ

会期 ● 2026年3月10日(金) ⇒ 13日(金)

会場 ● 東京ビッグサイト

主催 ● 食肉産業展実行委員会
後援 ● 農林水産省、厚生労働省ほか

同時開催
アジア最大級の食品・飲料総合展示会
FOODEX JAPAN 2026

食肉産業展東京事務局 ☎03-6206-0929

食肉産業展HPはコチラ ▶ <https://www.shokuniku-sangyoten.jp>

第74回家畜衛生部会開催 飼養衛生管理指導等指針の改正など答申—農水省

農水省は8月28日、第74回家畜衛生部会を開催し、飼養衛生管理基準の改正および、飼養衛生管理指導等指針の改正や特定家畜伝染病防疫指針の一部改正の諮問について、各小委員会での審議内容が答申され、これらすべてが承認された。

冒頭、消費・安全局の坂勝浩局長が「国内の家畜衛生の状況を振り返ると、鳥インフルエンザについてはこれまでに51事例が確認され、932万羽が殺処分されるまでに感染が拡大した。このような被害を軽減させるために、飼養衛生管理の強化、分割管理の推進を打ち出した鳥インフルエンザ対策パッケージを打ち出したところである。このような状況を踏まえ前回の本会では、鳥インフルエンザパッケージに関して飼養衛生管理基準と、その指導と指針の改善について、および特定家畜伝染病防疫指針の一部変更について諮問をしたところだ。これら議題についてこれまで各小委員会で、専門的、技術的な見地から議論いただいた。本日は各小委員会での審議の結果について奇譚きたんのない意見と活発な議論をお願いしたい」と述べた。

飼養衛生管理基準(家畜伝染病予防法施行規則)の改正案においては、鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥および七面鳥に対し、①対象とする家禽にエミューを追加②対応計画の策定対象となる大規模所有者に対し、分割管理の導入の検討を追加③対応計画の策定対象となる大規模所有者に対し、ウインドレス鶏舎の入気口部分における塵埃じんあい対策を追加④分割管理に取り組む場合の対応を追記⑤大臣指定地域に所在する農場に対し、消毒薬の備蓄などの準備や野鳥誘因防止対策の農場内での実施および地域内での実施の検討を追加⑥家禽舎などに加え、調整池等の農場敷地内の水場について防鳥ネットその他の設備を設置するよう追記⑦重複・類似する

項目の統廃合などの項目の整理—が盛り込まれ、牛、水牛、鹿、めん羊および山羊、豚および猪ならびに馬に対しては①牛等および豚等について、分割管理に取り組む場合の対応を追記②重複・類似する項目の統廃合などの項目を整理—するとし、商用出荷を行わない小規模農場において飼養される家畜荷については①小規模飼養農場かつ生産物の出荷がない農場を非商用農場として定義②自らが飼養する家畜の感染予防および疾病の早期発見・早期通報に資する基本的な事項を項目とする新たな基準を設定するとした。

また、飼養衛生管理指導等指針の一部変更案については①大臣指定地域内の農場における消毒薬の備蓄などの準備および地域的な野鳥誘引防止対策の体制の整備を追記②一つの農場を分割する分割管理とは別に、すでに分かれている同一経営内の複数農場間での人や物などの交差により、一つの農場で発生した場合に他の農場の家畜が殺処分対象となることを避ける取り組みを行うよう追記③法第12条の5に基づく指導および助言を実施する場合の判断基準の明確化を追記—するとした。

特定家畜伝染病防疫指針の一部改正案(高病原性鳥インフルエンザおよび低病原性鳥インフルエンザ)については①対象とする家禽にエミューを追加②大臣指定地域において、平時から地域一体となった発生予防対策を講じるよう記載③農水省は、発生に備えた措置として、都道府県が防疫作業に関わる民間事業者を活用できるよう、あらかじめリストアップするよう記載④都道府県は、民間事業者を活用し自ら対応可能な動員計画を作成するよう記載⑤大臣指定地域において、都道府県の発生に備えた取り組みとして、発生時に塵埃対策や緊急消毒などの追加措置を迅速に行えるよう指導することを記載—が盛り込まれた。

中元ギフト市場の厳しさうかがえる—7月分の加工品生産量

日本ハム・ソーセージ工業協同組合はこのほど、2025年7月の食肉加工品生産量を発表した。それに

よると、全体の生産量は4万2731t(前年同月比3・0%減)と、引き続き前年同月を下回る結果となった。

6月も3%減で、全体では同程度の減少。しかしながら、7月はハム類単体では微減での着地となったため、ギフトの生産量が一定程度あったものと推測できる。

単味品はハム類が9303t(0.4%減)、ベーコン類が6673t(11.1%減)で引き続き減少。ソーセージ類も2万4742t(2.3%減)で減少に転じ、主要3カテゴリーは全て減少となった。一方、プレス類は2013t(7.1%増)で増加に転じた。

ハム類の生産量は6月に8%以上の減少であったのが微減にまで持ち直した。これには中元ギフト向けの生産が貢献したと思われる。とはいえ、増加に転じていないこと、6月の落ち込みをカバーできる規模ではないことなど、やはり中元ギフト市場の厳しさもうかがえた。主要品目であるロースハムが6848t(0.1%

増)と増加したが、その他ハムは961t(0.6%減)、ラックスハム815t(0.6%減)、ボンレスハム548t(1.9%減)と減少品目が多かった。

ベーコン類は2桁の減少率となったが、これはバラベーコンが6087t(12.0%減)と大きく落ち込んだことが理由。ショルダーベーコンも399t(4.3%減)と振るわなかったが、その他ベーコンは186t(8.0%増)と増加した。

ソーセージ類はウインナーソーセージが1万8286t(0.9%減)と減少に転じた。その他ではフランクフルトソーセージが3042t(5.7%減)と減少に転じ、ボロニアソーセージは1152t(15.7%減)で大きく前年を下回った。プレス類はチョップドハムが1667t(42.2%増)と引き続き大きく増加したことが全体をけん引した。

[2025年7月の加工品生産量]

(単位：トン、%)

銘柄	生産数量	対前年同月比	2025年累計	対前年同期比
ロースハム	6,848.2	100.1	36,712.9	91.8
ボンレスハム	547.8	98.1	3,226.7	98.3
ラックスハム	815.0	99.4	4,963.0	97.6
その他ハム	960.5	99.4	5,703.7	89.9
ハム類計	9,302.9	99.6	51,401.9	92.5
チョップドハム	1,667.4	142.2	9,805.0	145.6
プレス類計	2,012.7	107.1	11,867.8	100.7
ベーコン	6,087.2	88.0	43,460.3	90.4
ショルダーベーコン	399.3	95.7	2,647.4	100.7
ベーコン類計	6,673.2	88.9	47,421.5	91.3
ウインナーソーセージ	18,285.9	99.1	128,290.7	99.1
フランクフルトソーセージ	3,042.4	94.3	18,094.7	95.6
リオナソーセージ	454.4	101.8	2,765.6	94.3
ボロニアソーセージ	1,151.9	84.3	7,803.3	93.5
無塩漬ソーセージ	737.7	95.2	5,477.3	94.1
その他ソーセージ	410.3	101.7	2,626.4	84.8
ソーセージ類計	24,742.2	97.7	168,908.0	97.9
ポークソーセージ	14,423.3	102.8	99,886.3	102.2
総合計	42,731.0	97.0	279,599.2	95.8
ハンバーグ類	1,691.6	87.7	11,991.3	90.8
やき豚	1,919.2	95.7	11,797.6	104.2
その他	3,987.9	92.9	26,016.1	96.3

【食肉流通統計・7月】と畜頭数は豚2・3%減、成牛0・9%減

農水省統計部が発表した7月の食肉流通統計によると、全国の豚と畜頭は128万1338頭(前年同月比2・3%減)と前年を下回り、枝肉生産量も9万9816t(2・5%減)と減少した。豚卸売価格(省令)は

区分	と畜頭数(頭)	枝肉生産量(t)	前年比%
豚	1,281,338	99,816	97.5
成牛計	99,142	45,827	100.1
和牛計	53,038	25,441	105.0
和牛雌	25,730	11,157	108.1
和牛去勢	27,295	14,281	102.9
和牛雄	13	4	20.6
*乳牛計	23,204	8,490	87.9
乳牛雌	14,019	4,403	96.1
乳牛去勢	9,172	4,084	80.5
乳牛雄	13	2	33.9
交雑牛計	22,822	11,862	101.1
交雑牛雌	10,824	5,249	99.9
交雑牛去勢	11,996	6,612	102.1
交雑牛雄	2	0.8	80.0
その他の牛計	78	35	18.3
その他の牛雌	40	16	152.3
その他の牛去勢	30	15	8.6
その他の牛雄	8	4	53.8
子牛	461	48	106.7
馬	932	396	105.8

*22年1月分調査より「乳牛」は乳用種の牛、「交雑牛」は乳牛と和牛、乳牛と外国種の交雑種として分離した。

829円(4・1%高)で、東京は868円(4・3%高)、大阪は867円(8・2%高)だった。

また、成牛と畜頭数は9万9142頭(0・9%減)と減少し、このうち和牛は計5万3038頭(3・8%増)、乳牛は計2万3204頭(10・4%減)、交雑牛は計2万2822頭(1・0%増)となった。成牛の枝肉生産量は4万5827t(0・1%増)と前年を上回った。

区分	東京市場		大阪市場	
	価格	前年同月比	価格	前年同月比
和牛去勢 A5	2,458	104.5%	2,471	100.1%
A4	2,155	109.4%	2,063	104.9%
A3	2,002	110.0%	1,884	109.0%
A2	1,716	109.2%	1,590	111.5%
交雑種去勢 B3	1,609	103.3%	1,642	106.7%
B2	1,449	106.8%	1,533	110.8%
乳牛去勢 B3	-	-	1,299	112.4%
B2	1,224	119.5%	1,224	116.2%

豚の枝肉取引頭数及び卸売価格(極上・上規格)

区分	取引頭数	前年同月比	価格	前年同月比
豚(主要卸市場計)	76,330	96.7	829	104.1
うち東京	5,986	87.7	868	104.3
大阪	223	57.3	867	108.2

【都内輸入食肉在庫・7月】牛肉在庫量は前年同月比7・3%増

東京冷蔵倉庫協会が公表した7月の都内食肉在庫によると、牛肉は入庫が1万9326t、出庫が1万6990t、在庫が5万8373tとなった。前年同月比では7・3%増となり、前月を上回った。

豚肉は入庫が4万2135t、出庫が4万1112tで在庫が11万3902tとなった。前年同月比では12・2%増となり、前月を上回った。

一方、鶏肉は入庫が1万6450t、出庫が1万9203t、在庫が4万2796tとなった。前年同月比では16・5%減となり、前月を下回った。

シーズンドポークなど

を含むその他畜産・畜産加工品は、入庫が6637t、出庫が6696tで在庫が1万2524tとなった。前年同月比では8・7%減となり、前月を下回った。

東京都の輸入食肉月末在庫(保税在庫)

単位:トン、%

	牛肉	豚肉	鶏肉	羊肉	馬肉	その他畜産物
6月	54,379	101,558	51,249	2,142	988	13,710
7月	58,608	103,508	47,983	2,006	902	14,175
8月	59,263	106,481	58,702	1,851	922	14,138
9月	59,533	107,471	53,718	1,739	975	15,607
10月	56,840	108,695	56,280	1,395	895	16,576
11月	53,982	103,585	55,792	1,210	1,010	14,917
12月	51,457	97,434	53,222	1,013	1,050	13,472
令和7年1月	52,496	99,162	55,020	1,075	1,118	13,690
2月	51,918	100,155	54,348	1,087	1,202	13,136
3月	53,673	99,231	48,832	1,217	1,133	12,669
4月	52,205	97,559	45,138	1,257	1,016	12,105
5月	55,206	109,231	45,349	1,667	1,080	12,856
6月	56,037	112,879	45,549	1,683	1,113	12,583
令和7年7月入庫	19,326	42,135	16,450	801	323	6,637
出庫	16,990	41,112	19,203	916	300	6,696
在庫	58,373	113,902	42,796	1,568	1,136	12,524
前年同月比	107.3%	112.2%	83.5%	73.2%	115.0%	91.3%

【豚肉調製品輸入通関・7月】 シーズンドなど合計 9780 tで 14・0%減

財務省が公表した7月分の貿易統計によると、豚肉調製品の輸入通関量は、カタを原料としたシーズンドポークを含む1602-42-090は、合計9480t(前年同月比14・0%減)と前年同月から減少した。前月からも1232t減少した。国別にみると、米国が4858t(25・8%減)、カナダが1097t(22・2%減)、チリが1584t(約2・4倍増)、メキシコが880t(28・5%減)となった。

カタ・モモ以外を原料とした1602-49-290の合計は3890t(36・8%増)となった。国別では、米国が2396t(55・9%増)、中国が988t(7・1%増)、デンマークが231t(58・0%増)、タイが131t(0・6%減)、メキシコが110t(12・0%増)となった。

また、表記以外のモモ肉およびこれを分割した1602-41-090は、米国173t、中国104t、タイ31t、韓国19tなど、5カ国から合計326t輸入された。

1602.42-090 カタを原料としたもの

単位:トン

	カナダ	アメリカ	チリ	メキシコ	オランダ	デンマーク	その他計	合計
2023年計	14,418	74,098	8,124	10,415	3,619	14,800	8,578	134,052
2024年計	14,103	68,627	10,857	9,125	43	8,819	5,584	118,133
前年比	97.8%	92.6%	133.6%	87.6%	1.2%	59.6%	65.1%	88.1%
2024年7月	1,410	6,549	672	1,231	0	662	207	11,020
8月	1,218	5,272	1,152	988	0	781	207	10,097
9月	1,143	6,001	648	660	0	735	469	9,656
10月	973	5,700	1,104	836	0	809	288	9,917
11月	1,195	4,952	864	572	0	434	691	8,708
12月	488	5,793	1,008	638	0	237	480	8,644
2025年1月	586	4,288	1,344	1,056	0	0	771	8,085
2月	660	5,224	600	528	0	17	397	7,426
3月	1,001	4,507	888	1,034	0	17	260	7,707
4月	1,146	6,379	983	989	0	155	924	10,577
5月	1,721	5,607	913	814	0	233	811	10,100
6月	1,340	7,055	840	704	0	144	635	10,712
7月	1,097	4,858	1,584	880	0	314	747	9,480
前年同月比	77.8%	74.2%	235.7%	71.5%	-	47.4%	360.0%	86.0%
2025年累計	7,551	37,918	7,151	6,007	0	882	4,545	64,088
前年同期比	83.1%	92.7%	117.6%	110.6%	0.0%	15.1%	131.8%	90.1%

1602.49-290 カタ・モモ以外を原料としたもの、混合を含む

単位:トン

	中国	デンマーク	アメリカ	タイ	オランダ	メキシコ	その他計	合計
2023年計	8,597	3,180	20,614	1,290	1,149	1,001	230	36,061
2024年計	11,586	5,191	31,334	1,792	137	1,334	361	51,745
前年比	134.8%	163.2%	152.0%	138.9%	11.9%	133.2%	157.3%	143.5%
2024年7月	923	146	1,537	132	0	98	7	2,844
8月	522	487	1,727	94	0	66	24	2,920
9月	580	473	1,205	102	14	108	19	2,502
10月	870	136	1,733	159	14	88	29	3,027
11月	606	269	1,293	92	31	44	41	2,377
12月	767	89	2,332	150	0	66	24	3,429
2025年1月	836	617	2,417	100	0	154	24	4,158
2月	460	289	1,996	75	0	44	23	2,887
3月	700	86	1,956	167	0	86	25	3,021
4月	989	326	1,669	96	16	88	54	3,237
5月	646	374	2,058	79	0	43	41	3,240
6月	603	392	1,786	115	0	110	7	3,013
7月	988	231	2,396	131	0	110	33	3,890
前年同月比	107.1%	158.0%	155.9%	99.4%	-	112.0%	446.0%	136.8%
2025年累計	5,222	2,316	14,278	763	16	635	207	23,445
前年同期比	99.4%	95.8%	95.2%	100.7%	25.0%	107.8%	211.8%	96.9%

豪州、25年4～6月期の穀物肥育牛肉輸出量、過去最高を記録

豪州フィードロット協会(ALFA)と豪州食肉家畜生産者事業団(MLA)はこのほど、四半期ごとに共同で実施している全国フィードロット飼養動向調査の結果(25年4～6月期)を公表した。

それによると、同年6月末の飼養頭数は、157万9175頭(前年同期比11・4%増、前回比5・5%増)と過去最高であった前回(25年3月末)の記録をさらに更新し、初の150万頭台となった(表)。また、収容可能頭数は170万6272頭(4・2%増、3・0%増)と初の170万頭台となり、フィードロットが肉質向上や干ばつ対策の手段として認識されたことで、フィードロットの稼働率も92・6%と過去最高水準になった(図)

25年第2四半期(4～6月)の穀物肥育牛と畜頭数は、堅調な輸出需要を背景としたフィードロット飼養頭数の増加により89万4178頭(21・8%増、4・1%増)となった。

MLAによると、今期の穀物肥育牛肉輸出先は17年以来最も多い51カ国となった。このうち、25年第2四半期の同輸出量は11万2935t(24・7%増、25・0%増)と過去最高を記録し、牧草肥育牛肉を含めた牛肉輸出量全体の29%を占めた。輸出先別にみると、中国向けは3万9340t(前年同期比1・9倍増)と穀物肥育牛肉輸出量全体の34・8%を占め、豪州最大の輸出先となった。この要因としてMLAは、中所得者層以上からの穀物飼育牛肉需要の増加から豪州産穀物肥育牛肉への需要が伸びていると分析

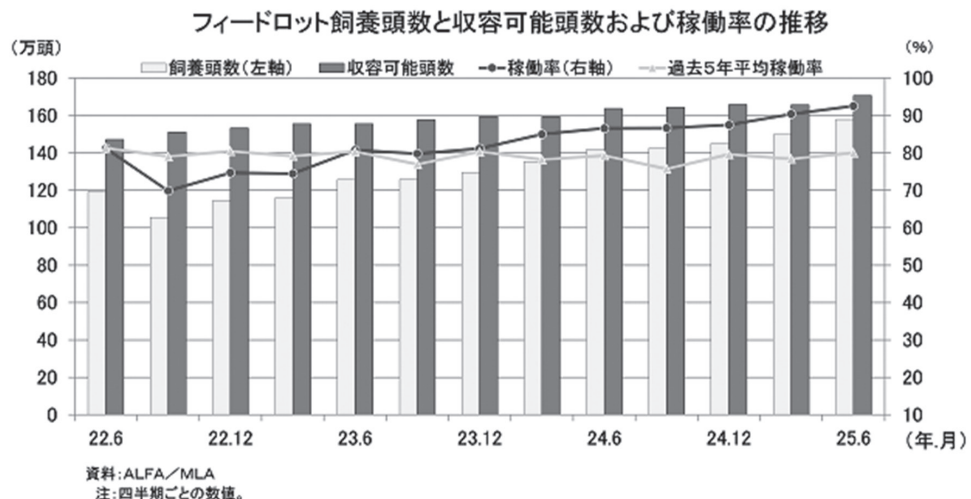
している。今回の結果を受けてALFAは、「収容可能頭数は5四半期連続で記録を更新しており、国内および世界的な需要に応えるために、豪州牛肉産業が高品質の肥育牛肉を提供していくという役割はこれまで以上に重要になっている」とし、「飼養頭数とフィードロット利用率の継続的な拡大は、このセクターへの強い信頼を反映している。また、豪州産穀物肥育牛は世界市場での需要が高まり続けている」とコメントした。またMLAは、「投入コストは上昇しているが、豪州国内の消費量は比較的安定しているため、記録的な畜頭数と生産量は輸出に仕向けられている。競合する米国産の生産量が減少する中、豪州産の穀物肥育牛に対する世界的な需要は依然として堅調だ」とコメントした。(農畜産業振興機構)

州別フィードロット飼養頭数

(単位:頭)

	①前年調査	②前回調査	③今回調査		
	2024年 6月末	25年 3月末	25年 6月末	前年同期比 (③/①)	前回比 (③/②)
クィーンズランド州	853,439	851,190	893,280	4.7 %	4.9 %
ニューサウスウェールズ州	385,127	442,735	471,767	22.5 %	6.6 %
西オーストラリア州	49,564	62,727	70,886	43.0 %	13.0 %
南オーストラリア州	69,711	71,060	71,072	2.0 %	0.0 %
ビクトリア州	60,351	69,613	72,170	19.6 %	3.7 %
合計	1,418,192	1,497,325	1,579,175	11.4 %	5.5 %

資料:ALFA/MLA



【東京食肉卸売市場】牛強もちあい、豚もちあい

[牛] 前週は和牛、交雑牛共に弱もちあい。旧盆以降相場は低迷しており、和牛5等級では、一部の銘柄やつくりの良いものは高値を維持しているものの、共励会などでも2千円を超えられないものが散見された。相場を下支えしてきたスソ物の引き合いも弱まっている。和牛A3はやや戻してきたが、交雑種去勢B2は引き続き弱い。

夏休みの行楽需要も終わり、和牛は切り落としなど安価な商材中心の動き。焼き材はそれなりに動いているが、高単価部位に加え、ウデ、ソトモも荷余り感がみられる。

今週から9月に入る。東京の上場は10日まではやや少なく、今週は平均390頭ほどが予定されている。相場は底を打ったとみられており、末端需要は弱い。抑えていたところからの月初の仕入れも予想され、和牛は去勢A5は2300～2400円、A4は2千～2100円、A3は1900～2千円、交雑牛去勢B4は

1600～1700円、B3は1500～1600円か。

[豚] 8月も終わりを迎えたが厳しい残暑が続いており、出荷頭数は大きく増えているわけではないが、相場は軟調に推移。前週後半には上物価格が600円を割り込むような気配をみせ、上中格差も大きい。

夏休みも終わり、消費者の節約志向は依然として底堅く、末端消費は鈍い。以前は9月に入ると、売り場では鍋物提案なども行われる時期だったが、昨今の異常な暑さでそうした動きはまだまだ先になりそうだ。

農水省の肉豚生産出荷予測(8月21日発表)によると、9月は128万9千頭(前年同月比1%増)と前年から微増の予測。ただ、平年比では3%減となっており、記録的な暑さが続くことが見込まれる中、頭数自体はそれほど多くはない。

今週も600円台のもちあいか。

【大阪市食肉卸売市場】和牛・交雑共に上げ、豚入荷少なく高値維持

[牛] 旧盆商戦明けで引き合いは弱く、前週は全体的に軟調気味となった。複数の食肉卸への聞き取りでは、現段階ではまだ9月の秋シーズンに向けて受注が強まっている様子はなく、9月に入ったからといって売れ行きがいきなり良化するということはない。

ただ、9月から年末にかけて仕入れが活発化していくタイミングということは間違いなく、今週の相場は和牛、交雑牛共に前週の一段高が見込まれる。特に和

牛4等級、交雑牛は下値が安定し、上値との価格差は小さいだろう。

[豚] 連日の猛暑で肉豚の生育は悪く、全国的にも出荷頭数が伸び悩んでいる。大阪市場も入荷が少なく、引き続き高値が続いている。9月に入っても猛暑は続くと思われる、出荷への影響が見込まれる。今週も相場は高値を継続するだろう。

【POSランク7月ハム製品】「朝のフレッシュロースハム」が首位

(株)KSP—SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した7月POS/ハム製品売れ筋ランキングによると、伊藤ハム「朝のフレッシュロースハム」(37g×3)が首位だった。

2位は伊藤ハム「朝のフレッシュロースハム」(37

g×4)、3位はプリマハム「スマイルUP!ロースハム4連」(148g)、4位は丸大食品「いつも新鮮ロースハム4連」(40g×4)、5位は丸大食品「いつも新鮮ロースハム」(40g×3)だった。対象店舗1069店舗の総販売金額は5億449万3961円。

[資料] 食肉加工品生産数量調査報告書 (2025年7月分)

(単位:t,%)

	銘柄	生産数量	対前年同月比	2025年累計	対前年同期比
ハム類	ロースハム	6,848.2	100.1	36,712.9	91.8
	ボンレスハム	547.8	98.1	3,226.7	98.3
	骨付きハム	8.2	88.2	38.8	82.0
	ラックスハム	815.0	99.4	4,963.0	97.6
	ベリーハム	3.0	100.0	16.6	96.0
	ショルダーハム	120.2	81.7	740.2	90.3
	その他ハム	960.5	99.4	5,703.7	89.9
	小 計	9,302.9	99.6	51,401.9	92.5
ベーコン類	ベーコン	6,087.2	88.0	43,460.3	90.4
	ロースベーコン	0.9	180.0	6.3	108.6
	ショルダーベーコン	399.3	95.7	2,647.4	100.7
	その他ベーコン	185.8	108.0	1,307.5	107.6
	小 計	6,673.2	88.9	47,421.5	91.3
ソーセージ類	ウインナーソーセージ	18,285.9	99.1	128,290.7	99.1
	フランクフルトソーセージ	3,042.4	94.3	18,094.7	95.6
	リオナソーセージ	454.4	101.8	2,765.6	94.3
	ポロニアソーセージ	1,151.9	84.3	7,803.3	93.5
	ドライソーセージ	628.9	100.5	3,610.3	94.7
	セミドライソーセージ	24.3	106.6	190.5	132.7
	レバーソーセージ	2.1	91.3	21.5	93.9
	レバーペースト	1.2	75.0	6.6	84.6
	加圧加熱ソーセージ	1.7	0.0	13.0	65.3
	無塩漬ソーセージ	737.7	95.2	5,477.3	94.1
	混合ソーセージ	0.6	120.0	3.7	105.7
	加圧加熱混合ソーセージ	0.8	200.0	4.4	112.8
	その他ソーセージ	410.3	101.7	2,626.4	84.8
	小 計	24,742.2	97.7	168,908.0	97.9
プレスハム類	プレスハム	345.3	48.8	2,062.8	40.8
	混合プレスハム	0.0	0.0	0.0	0.0
	チョップドハム	1,667.4	142.2	9,805.0	145.6
	小 計	2,012.7	107.1	11,867.8	100.7
合 計		42,731.0	97.0	279,599.2	95.8
ポークソーセージ		14,423.3	102.8	99,886.3	102.2
サラミソーセージ		102.8	112.6	550.4	95.9
ハンバーグ類		1,691.6	87.7	11,991.3	90.8
焼き豚		1,919.2	95.7	11,797.6	104.2
その他		3,987.9	92.9	26,016.1	96.3

- 注) 1. 生産数量は食肉加工工場より報告された数量である。
 2. ポークソーセージはウインナー、フランク、ポロニアの内数である。
 3. サラミソーセージはドライ、セミドライの内数である。

資料：日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」
 (公益社団法人日本食肉協議会委託事業)

ハム製品7月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年6月 対象店舗数:1,069店舗 品目合計:5億449万3,961円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	伊藤ハム 朝のフレッシュロースハム 37g×3	63,054,342	257,548	244.8	9.2	9.9	57.2
2	伊藤ハム 朝のフレッシュロースハム 37g×4	43,013,577	143,511	299.7	6.2	5.5	31.2
3	プリマハム スマイルUPロースハム4連 148g	32,505,703	115,927	280.4	4.7	4.5	24.0
4	丸大食品 いつも新鮮ロースハム4連 40g×4	28,771,561	99,966	287.8	4.2	3.8	25.4
5	丸大食品 いつも新鮮ロースハム 40g×3	27,840,030	129,640	214.8	4.0	5.0	24.8
6	伊藤ハム 燻工房 ロースハム切り落とし(ヨコ) 95g	27,086,412	94,922	285.4	3.9	3.6	64.1
7	プリマハム スマイルUP!ロースハム3連 37g×3	22,661,670	98,254	230.6	3.3	3.8	35.1
8	プリマハム ホワイトロースハム 210g	17,757,020	57,629	308.1	2.6	2.2	47.8
9	イオントップバリュ トップバリュ ロースハム4連 40g×4	14,616,081	51,810	282.1	2.1	2.0	9.9
10	シジシージャパン Vパックロースハム 148g	13,188,135	48,684	270.9	1.9	1.9	25.4
11	プリマハム ロースハム 4連	12,576,103	48,027	261.9	1.8	1.8	5.1
12	プリマハム 十勝グルメの便り ロース生ハム 90g	11,972,033	39,314	304.5	1.7	1.5	51.7
13	信州ハム ロースハムスライス積重ね 260g	11,176,163	33,740	331.2	1.6	1.3	18.0
14	信州ハム グリーンマーク ロースハム 60g	10,818,818	37,610	287.7	1.6	1.4	60.0
15	伊藤ハム 燻工房 ももハム切り落とし(ヨコ) 100g	10,645,178	37,882	281.0	1.5	1.5	54.1
16	イオントップバリュ 生ハムロース 100g	9,752,542	33,434	291.7	1.4	1.3	12.4
17	伊藤ハム 朝のフレッシュ生ハムロース 19g×3	9,188,173	32,129	286.0	1.3	1.2	51.9
18	丸大食品 たっぷり使えるロースハム切り落とし 220g	7,731,079	23,936	323.0	1.1	0.9	35.5
19	プリマハム ロースハム 50g4コタバ	7,637,068	27,427	278.5	1.1	1.1	5.2
20	日本ハム リッチロースハム 54g×3	7,511,996	15,650	480.0	1.1	0.6	28.8
21	シジシージャパン Vパックホワイトロースハム 185g	7,389,165	24,802	297.9	1.1	1.0	21.3
22	フードリエ 麹好亭キザミハム 53g	7,225,163	61,357	117.8	1.1	2.4	61.5
23	シジシージャパン Vパック生ハムロース 100g	7,115,277	24,805	286.9	1.0	1.0	23.9
24	伊藤ハム さわやかパック うすぎりホワイトロース 82g	6,761,504	22,624	298.9	1.0	0.9	47.1
25	日本ハム 便利 ロース生ハム 20g×3	6,462,822	20,673	312.6	0.9	0.8	55.8
26	日本ハム 彩りキッチンロースハム 40g×3	6,375,533	24,661	258.5	0.9	1.0	6.5
27	エア・ウォーターアグリ&フーズ 生ハムロース 80g	5,567,372	21,085	264.0	0.8	0.8	16.9
28	鎌倉ハム富岡商会 熟成ロースハム 75g	5,462,980	14,473	377.5	0.8	0.6	19.2
29	日本ハム 彩りキッチンロースハム 40g×4	5,406,114	18,485	292.5	0.8	0.7	4.8
30	プリマハム サラダにうす切りロースハム 65g	5,268,924	26,440	199.3	0.8	1.0	56.4
31	シジシージャパン 断然お得ロースハム 40g×4	4,956,399	16,828	294.5	0.7	0.7	11.6
32	丸大食品 いつも新鮮ロースハム 4枚×5P	4,934,235	16,762	294.4	0.7	0.6	2.4
33	シジシージャパン Vパックしっとりももハム 120g	4,706,086	16,211	290.3	0.7	0.6	23.9
34	めくみの農業協同組合 JAめくみの 400g	4,426,066	4,174	1,060.4	0.6	0.2	13.2
35	鎌倉ハム富岡商会 熟成ももハム 68g	4,164,803	11,025	377.8	0.6	0.4	17.8
36	プリマハム ぐらし良好 ロースハム 34g×4	4,038,625	14,921	270.7	0.6	0.6	5.5
37	米久 ロースハムスライス 140g	3,964,994	19,897	199.3	0.6	0.8	7.9
38	日本ハム 切り落としホワイトももハム 170g	3,790,535	10,263	369.3	0.6	0.4	22.8
39	伊藤ハム 朝のフレッシュチキンハム 38g×3	3,713,730	15,012	247.4	0.5	0.6	24.5
40	伊藤ハム 醇上級 ロースハム 53g	3,689,531	17,107	215.7	0.5	0.7	42.8
41	伊藤ハム しっとりまるやかもも生ハム切落し110g	3,640,973	10,699	340.3	0.5	0.4	22.0
42	信州ハム グリーンマーク ポンレスハム 使い切り 35g2連	3,640,763	12,968	280.8	0.5	0.5	18.9
43	日本生活協同組合連合会 ロースハム 36g×3	3,485,060	11,651	299.1	0.5	0.5	2.0
44	明宝特産物加工 ハム<丸音> 360g	3,426,914	2,955	1,159.7	0.5	0.1	8.2
45	丸正フーズ ホワイトボンレス 90g	3,288,222	17,877	183.9	0.5	0.7	2.5
46	銀河フーズ ロースハムスライス 230g	3,263,166	9,029	361.4	0.5	0.4	5.3
47	イオントップバリュ トップバリュ ベストプライスロースハム 140g	3,242,028	16,544	196.0	0.5	0.6	4.7
48	日本生活協同組合連合会 生ハムロース ツインパック 39g×2	2,892,645	11,310	255.8	0.4	0.4	3.4
49	日本生活協同組合連合会 ロースハム 83g	2,887,427	11,676	247.3	0.4	0.5	5.9
50	丸大食品 いつも新鮮ももハム3連 37g×3	2,695,069	12,265	219.7	0.4	0.5	13.1

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 8月29日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,810	3,108	1,986	-	-
		安値	2,053	1,876	1,683	-	-
		平均	2,406	2,103	1,872	1,785	-
	93頭	頭数	60	29	3	1	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,184	2,335	1,989	-	-
		安値	2,038	1,859	1,938	-	-
		平均	2,412	2,042	1,950	1,623	-
	90頭	頭数	62	21	6	1	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	1,392	-	
1頭	頭数	-	-	-	1	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,613	1,490	1,317	-
		13頭	頭数	-	4	4	5
	雌 C	平均	-	-	1,507	1,240	-
		3頭	頭数	-	-	1	2
	去 B	平均	-	1,679	1,509	1,404	-
		19頭	頭数	-	4	9	6
去 C	平均	-	-	-	1,373	-	
	2頭	頭数	-	-	-	2	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	400 278	915 1,023	- 218.5	(競り)	(相対)	
				-	31	39

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,424	1,885	1,580	1,454	-
	B	-	1,646	1,490	1,361	1,085
和 去	A	2,158	2,068	1,620	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,026	1,030
	C	-	-	-	938	994
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,629	1,497	1,390	-
	C	-	-	1,349	1,227	953
交 去	B	-	1,701	1,450	1,342	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	774	799	756	637	562
	安値	622	572	550	489	359
	平均	714	610	580	557	533
	頭数	(4)	(301)	(413)	(171)	(134)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	717	-	464	593
	安値	-	717	-	378	346
	平均	-	717	717	401	556
	頭数	(-)	(5)	(1)	(4)	(21)

[大阪食肉卸売市場] 8月29日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,620	2,172	-	-	-
(頭数)	(8)	(2)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,612	2,024	-	-	-
(頭数)	(6)	(7)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	1,934	1,780	1,641	-	-
C	-	1,729	-	-	-
交雑去 B	-	1,798	1,637	1,492	-
C	-	-	1,618	1,415	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	8月29日	8月28日	(8月累計)
豚	61,000	64,000	1,085,700
成牛計	4,320	3,680	74,080
和牛雌	1,220	850	17,370
和牛去勢	880	820	18,270
乳牛雌	810	960	12,710
乳牛去勢	330	440	8,140
交雑雌	520	300	7,780
交雑去	560	310	9,740

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 8月29日

	1,428円	(前日 1,403円)
東京		
	1,574円	(前日 1,555円)
大阪		

[豚・全農建値] 8月29日

上	中	取引頭数	市況
618円	589円	1,111頭	反発

と畜 売買	牛 72頭	豚 122頭	牛概況	軟調
	牛 54頭	豚 50頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 8月29日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	713 (734)	- (-)	5,927	-	下押し
仙台 [中]	665 (-)	610 (595)	489	15	続伸
栃木 [地]	606 (648)	521 (570)	1,590	58	下押し
茨城 [地]	604 (621)	573 (585)	1,168	644	続落
群馬 [地]	611 (601)	544 (505)	1,806	439	続伸
さいたま [中]	621 (605)	605 (549)	272	269	反発
東京 [中]	610 (606)	580 (572)	915	1,023	小戻し
横浜 [中]	625 (622)	584 (590)	636	635	もちあい
山梨 [地]	- (691)	- (656)	100	11	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	739 (744)	706 (730)	856	268	続落
京都 [中]	625 (735)	631 (683)	31	28	もちあい
大阪 [中]	- (-)	- (-)	122	-	上場なし
神戸 [中]	635 (736)	615 (727)	-	48	下押し
岡山 [地]	685 (672)	703 (647)	285	214	強気配
広島 [中]	- (-)	- (-)	275	44	-
福岡 [中]	647 (665)	625 (631)	560	117	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 8月22日～8月28日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,551,250 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,248	1,458	1,527	1,436	71,111
うで	853	915	987	919	126,131
ロース	1,187	1,285	1,432	1,308	134,757
ばら	1,285	1,429	1,501	1,414	150,632
もも	807	853	950	861	145,164
ヒレ	1,188	1,296	1,598	1,360	18,686
セット	1,058	1,104	1,164	1,113	904,769

◇近畿圏 総重量 655,621 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,393	1,474	1,580	1,484	55,366
うで	805	876	896	866	99,442
ロース	1,268	1,350	1,439	1,363	88,581
ばら	1,392	1,458	1,490	1,450	120,058
もも	810	848	917	850	147,801
ヒレ	1,296	1,493	1,598	1,472	10,140
セット	1,037	1,171	1,248	1,149	134,233

[食鳥正肉日経相場] 8月28日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	694	774	964	163
ムネ	504	574	709	146

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	701	776	1,030	4
ムネ	503	542	638	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 8月28日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,047	787	550	600	650
安値	610	530	290	360	350
平均	782	588	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランケット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します